

地域ケア会議

(1) 地域ケア会議について

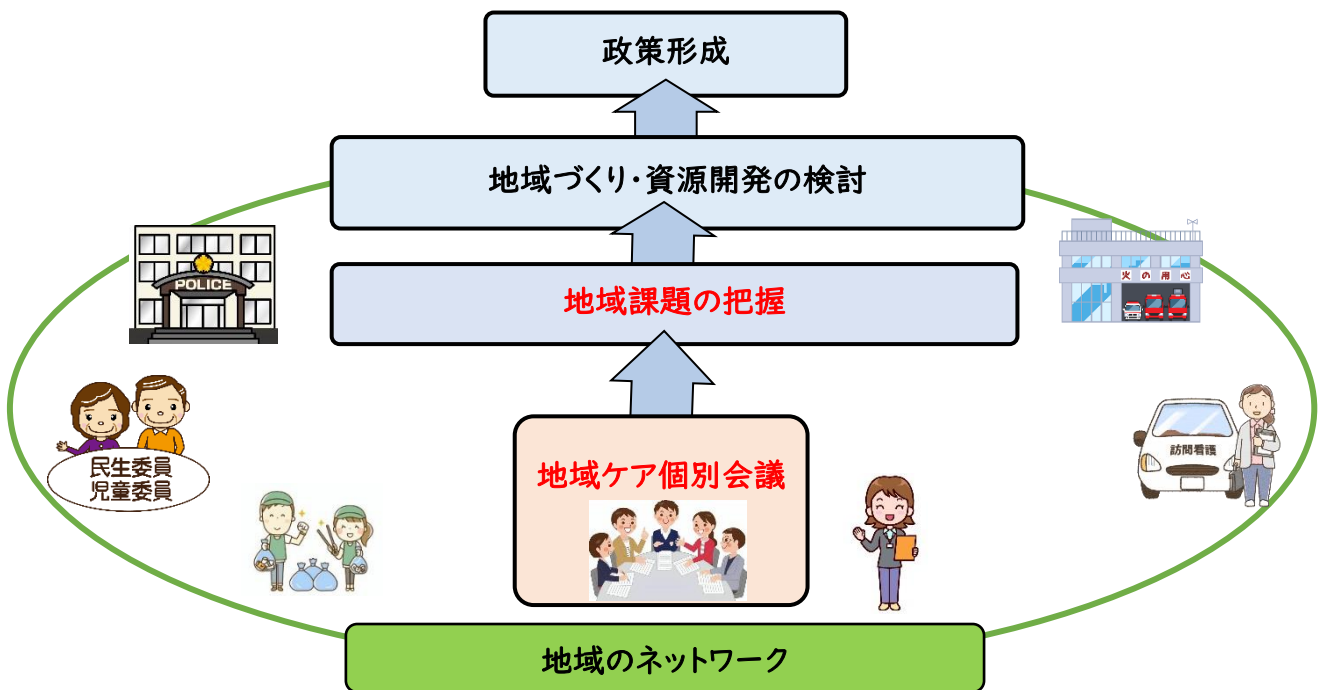
「地域ケア会議」は、個別ケースの検討と地域課題の検討という大きく2つのテーマで構成されています。

① 個別ケースの検討: **地域ケア個別会議**

地域の多様な専門職が協働し、ケアマネジャーへの支援を通じて、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしをいつまでも続けることができるよう地域全体で支援する。

② 地域課題の検討: **地域ケア推進会議**

個別ケース検討から明らかになった有効な支援方法や地域に共通する課題について協議するとともに、必要とされる地域づくりや地域資源を創出する。



(2) 地域ケア個別会議

① 「自立支援」のための地域ケア個別会議

自立支援・介護予防の視点で「要支援者等の生活行為の課題の解決等、状態の改善に導き、自立を促すこと」ひいては「高齢者の QOL の向上」を目指していく。

※ QOL=Quality of life (クオリティ オブ ライフ) は「生活の質」「生命の質」

開催頻度:月1回【1回2事例】

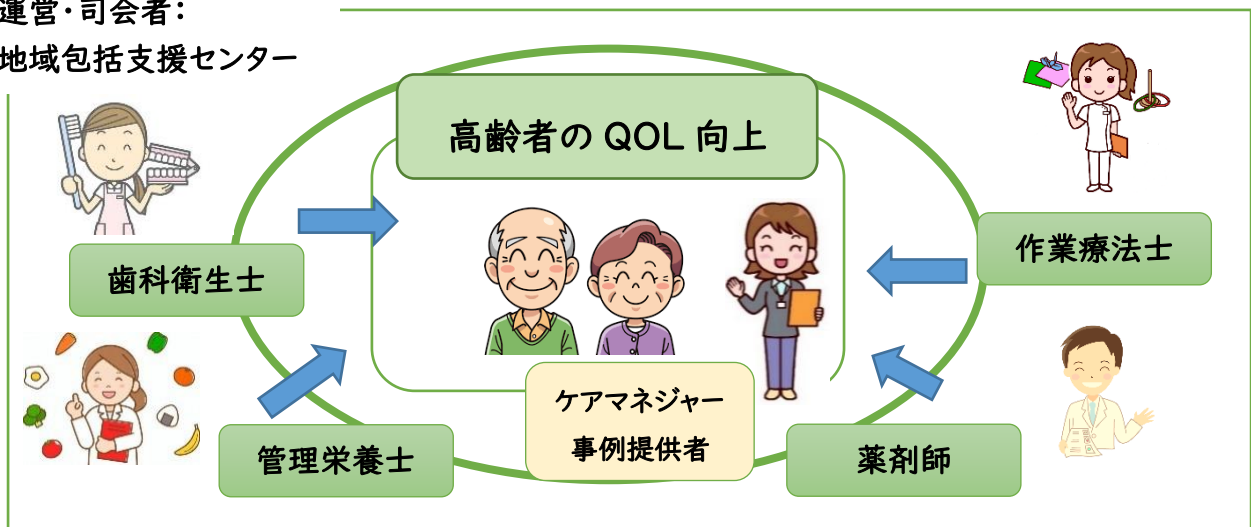
事例対象者:要支援者

参加者:司会者・事例提供者・助言者(作業療法士・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士)

OJT のための見学者可

運営・司会者:

地域包括支援センター



モニタリング:地域ケア個別会議実施後、約3か月後に実施

・モニタリングにより検討された内容やその支援を実施したことによる成果を参加者に「フィードバック」をする。また、地域ケア個別会議への参加者のみでなく、類似ケースについてもその検討内容や対応内容を活かしていく。

② 「援助困難ケース」のための地域ケア個別会議

専門機関や地域住民が連携して、支援の方向性等の情報共有化や役割分担を行い、問題を解決する。

開催頻度:不定期

対象者:①支援者が困難を感じているケース

②家族機能がない、一人暮らし高齢者等の支援が必要なケース

③支援が必要だと判断されるがサービスにつながないケース

④権利擁護が必要なケース

⑤地域課題に関するケース 等

参加者:司会者・事例提供者・助言者(専門職)・助言者(専門職以外)

※必要に応じて参加者を選定